

税関の役割

世界最先端の税関を目指し、税関では3つの使命を果たすため、国内関係機関や関係業界、さらには各国の税関や国際機関などと連携・協力しながら、適正な税関行政の運営に取り組んでいます。

1 安全・安心な社会の実現

薬物、銃器をはじめ、テロ関連物品、知的財産侵害物品等の社会の安全安心を脅かす物品等の密輸出入を一層効果的に水際で取締るため、国内外の関係機関との連携や情報交換を積極的に行うなど、近年の密輸事犯の大口化や多様化に対応した取締体制等の整備に取り組んでいます。



2 適正かつ公平な関税等の徴収

税関で徴収する関税、消費税等は、日本の国税収入の約14.1%を占めております。関税等の適正な賦課及び徴収を確保するため、積極的な情報提供を通じて、適正な申告が可能となるよう納税環境を整備するとともに、各種施策を講じています。



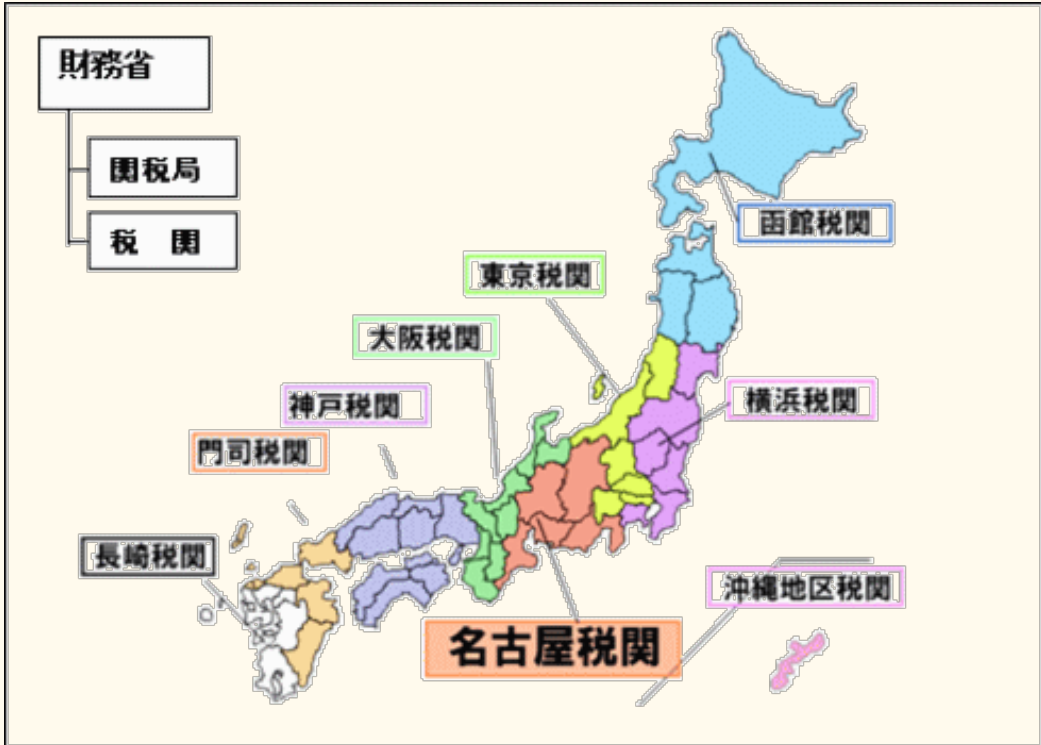
3 貿易の円滑化

貿易の秩序維持と健全な発展を目指すに当たっては、適正な通関を確保しつつ、簡便な手続と円滑な処理を実現する必要があります。税関では、手続やシステム運用等の改善を行うなど、利用者の利便性の向上等を通じた貿易の円滑化の取組みを進めています。



税関の組織

税関は、財務省の地方支分部局として、函館・東京・横浜・名古屋・大阪・神戸・門司及び長崎の8税関と沖縄地区税関で構成されており、名古屋税関は、日本の中部圏を管轄しております。



名古屋税関の管轄

名古屋税関は、愛知・静岡・三重・岐阜及び長野の5つの県を管轄しており、名古屋港・中部国際空港などの、日本を代表する「海」と「空」の大きな港を擁しています。

